

OSHIROX
ソリッドカラー

OSHIROX
サンドカラー

OSHIROXコート

OSHIROXコートの特徴

OSHIROXコートは、各種基材を劣化要因から保護するとともに、塗料そのものの汚れを抑制することで、施工後の美観を長期にわたり保護することを目的として開発された塗料です。
一般的に必要とされる密着性や隠ぺい性はもちろん、高耐久性、高耐候性、そして防カビ・防藻や塗膜の親水性による耐汚染性にもすぐれた性能を発揮します。

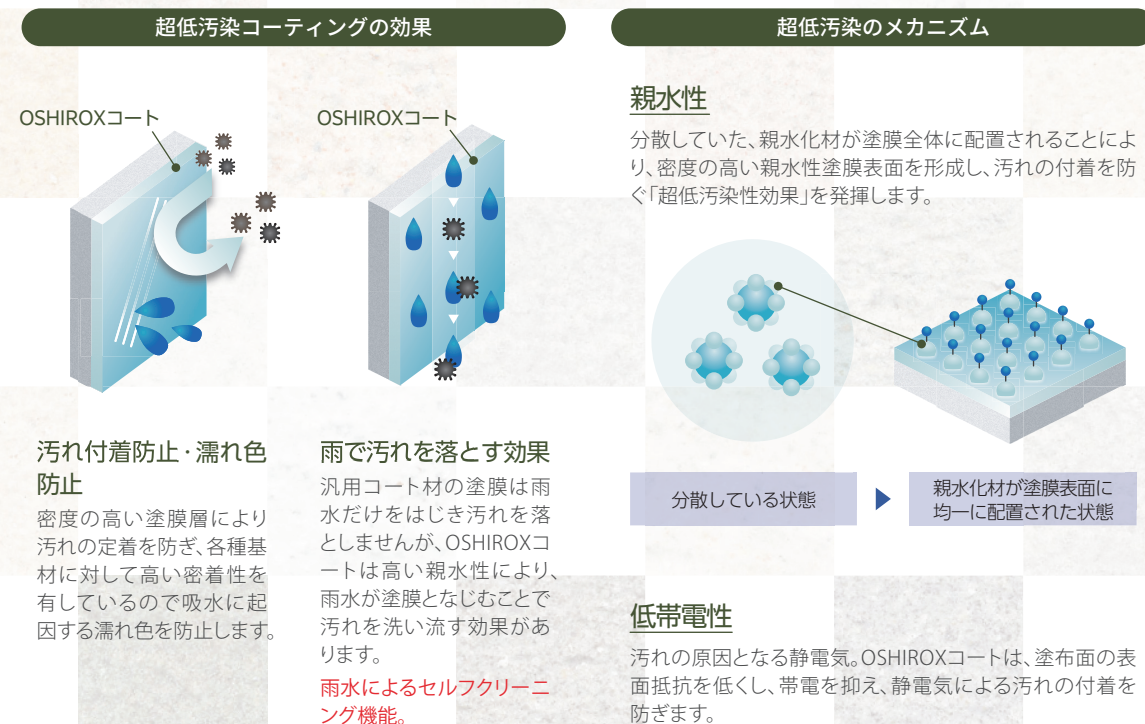
■ 高耐久性・高耐候性

優れた耐久性・耐候性で各種基材を塩害・中性化などのトラブルから保護します。



■ 塗膜型 超低汚染コーティング

非常に高いレベルでの親水性・密着性を発揮し、汚れをの定着を防ぎます。



OSHIROX Solid Color 商品紹介

OSHIROX ソリッドカラー

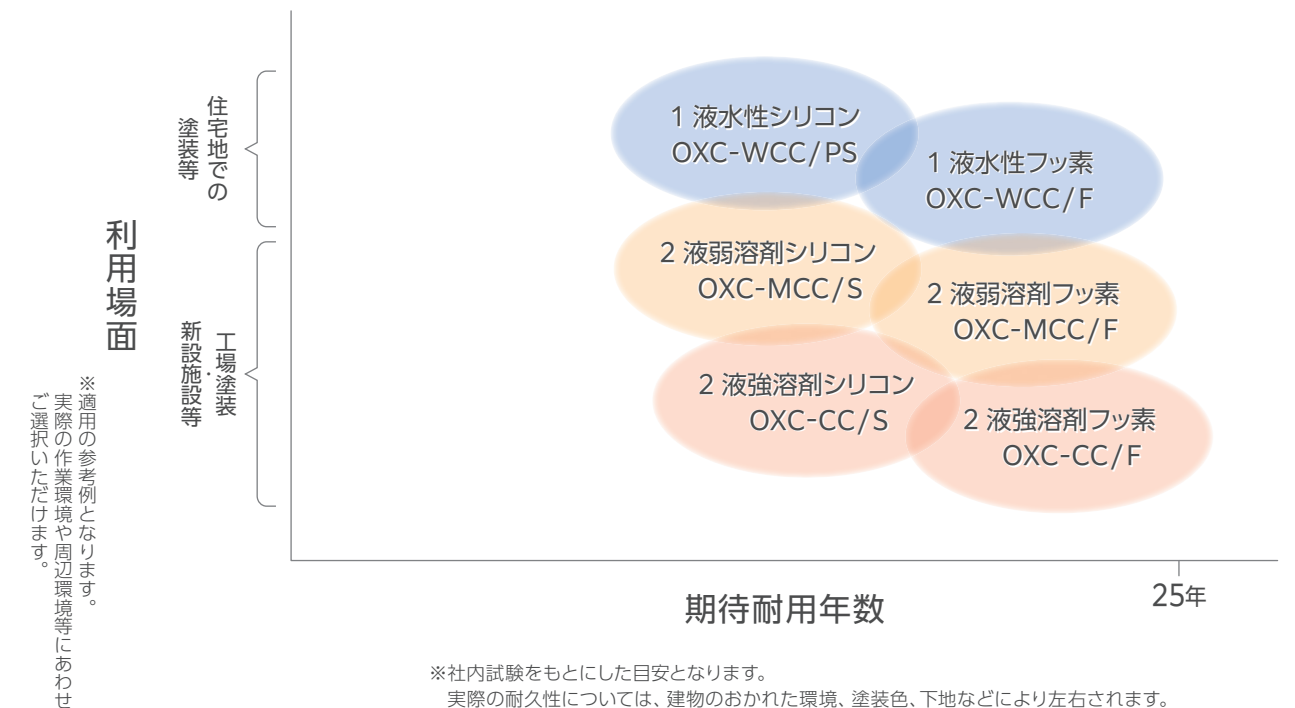
商品紹介

■ OSHIROXソリッドカラーは、隠ぺい性に優れたエナメル塗料です。

アクリル系樹脂、シリコン系樹脂、フッ素系樹脂をベースに、それぞれ水性／弱溶剤／溶剤の3タイプをラインナップ(※)しており、使用場所や工程数、必要性能等に合わせてお選びいただけます。

(※)アクリル樹脂系塗料は内部用の水性のみとなります。

選定ガイド



※社内試験をもとにした目安となります。
実際の耐久性については、建物のおかれた環境、塗装色、下地などにより左右されます。

OSHIROX サンドカラー

商品紹介

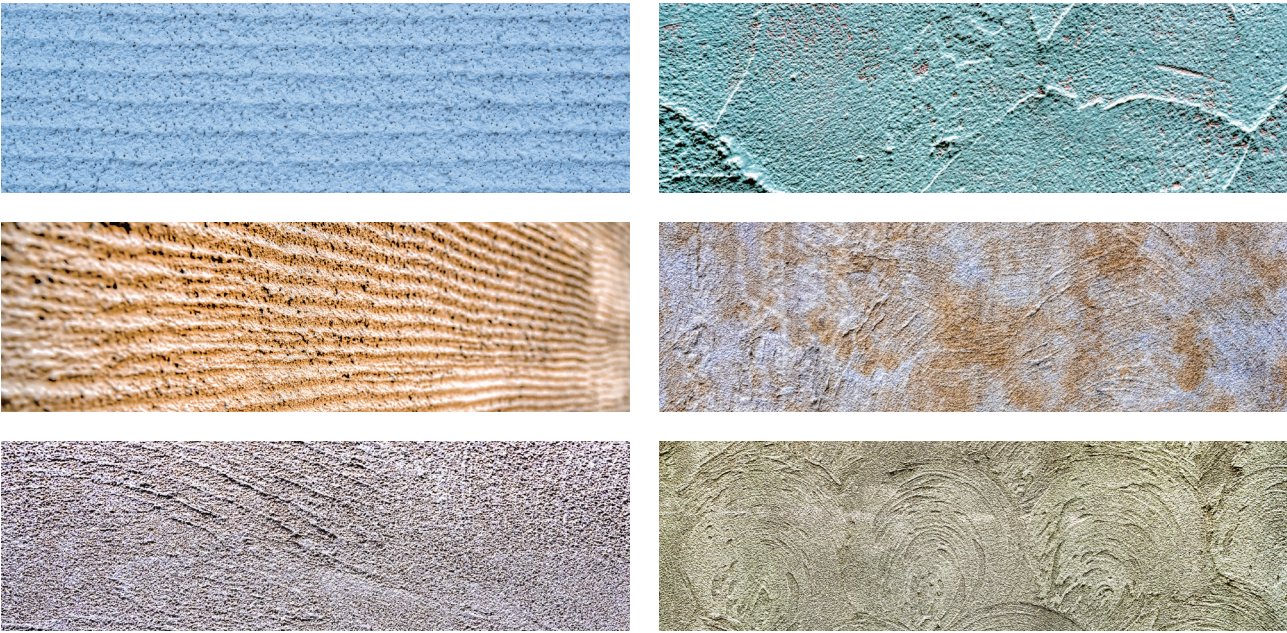
■ OSHIROXサンドカラーは、耐久性に優れた外装用の高意匠性塗壁材です。

塗料の持つ独特の質感に、塗装具や塗装方法、複数の色などを組み合わせることにより、高い意匠性を外壁に表現することができます。

耐候性・耐久性に優れたフッ素樹脂を採用することで、紫外線による色あせや汚れの染み込みを大きく抑制する設計となっており、当初の美観を長期にわたり保つことができます。

また、カビや藻の発育に対し抵抗性を有しており、塗膜表面は外観のみならず衛生面についても良好に保たれます。親水化仕様では、仕上にOXC-Siを塗布することで、表面により高い親水性を付与し汚れ等の付着を防ぎ、雨筋汚れなどの発生を抑制します。

意匠例



※意匠は一例となります。
その他の意匠についても提案可能です。お問い合わせください。

標準仕様（下塗り）

OSHIROX ソリッドカラー工法 / OSHIROX サンドカラー工法

■ 共通工程

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法
素地調整	躯体の汚れ、付着物を除去し、不陸などを補修する 躯体の養生及び乾燥を確認する（含水率8%以下 pH10以下）						

■ 下塗り工程

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法（※1）
下塗り（※2）	OXC-W/EPO		無希釈	0.08～0.15	1～2	2h以上（※3）	ローラー・刷毛・ スプレーガン
	OXC-EPO	主剤：硬化剤 2：1	無希釈	0.035～0.22	1～2	5h以上 168h以内	ローラー・刷毛・ スプレーガン
	OXC-S/EPO	主剤：硬化剤 4：1	専用シンナー（※4） ハケ・ローラー：0～30% スプレー：20～50%	0.12～0.30	1～2	5h以上 168h以内	ローラー・刷毛・ スプレーガン

※1 下塗りに使用したローラーやハケは、基本的に上塗り時には使用しないでください。
水性同士でも下塗り塗料の成分と上塗り塗料の成分が混合するとゲル化しますので、洗い水も分けてください。
※2 基材、塗装条件、上塗り塗料により適した下塗り材を選定し使用してください。
基材ごとの塗布量及び塗回数については、下記「下塗り塗料選定及び塗布量表」を参照ください。
※3 OXC-WCCを上塗りする場合は2h以上、OXC-MCCを上塗りする場合は16h以上としてください。
※4 OXC-エポキシシンナーをご使用下さい。

■ 下塗り塗料選定及び塗布量表

基材	下塗り塗料	塗布量目安 (kg/m ²)	塗回数
押出成形セメント板	OXC-W/EPO	0.08～0.15	1
	OXC-EPO	0.035～0.13	1
PC板	OXC-W/EPO	0.08～0.15	1
	OXC-EPO	0.08～0.13	1
現場打ちコンクリート	OXC-EPO	0.12～0.22	1～2
	OXC-S/EPO	0.12～0.25	1～2
多孔質セメント系基材（※1）	OXC-S/EPO	0.15～0.30	1～2

※1 特に吸い込みが大きい基材。
※2 上塗りにOXC-CCを用いる場合は、OXC-EPOをご使用ください。
※3 改修（旧塗膜がある場合）、ALC基材、金属下地、金属パネル等については別途お問い合わせください。
※4 上記の塗布量は目安となります。基材の状態、意匠等により増減することがあります。

標準仕様（上塗り）

OSHIROX ソリッドカラー工法

■ 内部 水性上塗り仕様（アクリル樹脂仕上げ）

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法
上塗り	OXC-WCC/AC		清水 ハケ・ローラー：5～15% スプレー：10～20%	0.20～0.33	2	2h以上 168h以内 最終養生24h	ローラー・刷毛・ スプレーガン

■ 内外部 水性上塗り仕様（シリコン系樹脂仕上げ）

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法
上塗り	OXC-WCC/PS		清水 ハケ・ローラー：0～5% スプレー：5～10%	0.14～0.26	1～2	3h以上 168h以内 最終養生24h	ローラー・刷毛・ スプレーガン

■ 内外部 水性上塗り仕様（フッ素系樹脂仕上げ）

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法
中塗り	OXC-WCC/F 中塗り		清水 ハケ・ローラー：0～15% スプレー：5～15%	0.09～0.17	1	2h以上 168h以内	ローラー・刷毛・ スプレーガン
上塗り	OXC-WCC/F 上塗り		清水 ハケ・ローラー：0～15% スプレー：5～15%	0.09～0.17	1	最終養生24h	ローラー・刷毛・ スプレーガン

■ 弱溶剤上塗り仕様（シリコン系樹脂仕上げ）

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法
上塗り	OXC-MCC/S	主剤：硬化剤 9：1	塗装用シンナー（※2） ハケ・ローラー：0～15% スプレー：10～25%	0.20～0.33	2	3h以上 168h以内 最終養生24h	ローラー・刷毛・ スプレーガン

■ 弱溶剤上塗り仕様（フッ素系樹脂仕上げ）

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法
中塗り	OXC-MCC/F 中塗り		専用シンナー（※2） ハケ・ローラー：0～15% スプレー：10～25%	0.10～0.17	1	3h以上 168h以内	ローラー・刷毛・ スプレーガン
上塗り	OXC-MCC/F 上塗り		専用シンナー（※2） ハケ・ローラー：0～15% スプレー：10～25%	0.10～0.17	1	最終養生24h	ローラー・刷毛・ スプレーガン

※2 OXC-MCC専用シンナーをご使用ください。

■ 溶剤上塗り仕様（シリコン系樹脂仕上げ）

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法
上塗り	OXC-CC/S	主剤：硬化剤 14：1	専用シンナー（※3） ハケ・ローラー：0～15% スプレー：10～35%	0.20～0.33	2	1h以上 168h以内 最終養生24h	ローラー・刷毛・ スプレーガン

■ 溶剤上塗り仕様（フッ素系樹脂仕上げ）

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法
中塗り	OXC-CC/F 中塗り	主剤：硬化剤 10：1	専用シンナー（※3） ハケ・ローラー：30～70% スプレー：60～100%	0.10～0.15	1	4h以上 168h以内	ローラー・刷毛・ スプレーガン
上塗り	OXC-CC/F 上塗り	主剤：硬化剤 4：1	専用シンナー（※3） ハケ・ローラー：0～30% スプレー：20～50%	0.10～0.15	1	最終養生24h	ローラー・刷毛・ スプレーガン

※3 OXC-CC専用シンナーをご使用下さい。

OSHIROX サンドカラー工法

■ 水性意匠仕様（フッ素系樹脂仕上げ）

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法
上塗り（※4）	OXC-WCC/F サンド		清水 0～20%	1.0～3.0	1～2	2h以上 最終養生24h	ローラー・刷毛・ こて・スプレー ガン・その他

※4 希釈率、塗布量、塗回数および塗装間隔は参考値としてのものです。
選択する意匠/パターンにより大きく変わりますのでご注意ください。

■ 親水化仕様（オプション）

工程	材料	混合比 (重量比)	希釈 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗回数	養生時間	使用方法
乾燥	上塗り塗料の最終養生期間以後であることを確認する						
上塗り	OXC-Si		希釈不可	0.025～0.05	1	最終養生24h	ローラー・刷毛・ スプレーガン

製品一覧

	製品名称	荷姿 2液の製品は 主剤/硬化剤	色（※2）	光沢					消防法上の区分（※1） 2液の製品は 主剤/硬化剤
				艶 有	7 分 艶	5 分 艶	3 分 艶	艶 消	
下塗り	OXC-W/EPO	15kg	クリアー						非危険物
	OXC-EPO	10kg/5kg	クリアー						第二石油類/第二石油類
	OXC-S/EPO	14.4kg/3.6kg	白						第一石油類/第二石油類
上塗り (水性)	OXC-WCC/AC	15kg	指定色	○	—	○	○	○	非危険物
	OXC-WCC/PS	15kg	指定色	○	—	○	○	○	非危険物
	OXC-WCC/F中塗り	15kg	指定色	○	—	—	—	—	非危険物
	OXC-WCC/F上塗り	15kg	指定色	○	—	—	○	—	非危険物
	OXC-WCC/Fサンド	18kg	指定色						非危険物
	OXC-Si	4kg	クリアー						非危険物
上塗り (弱溶剤)	OXC-MCC/S	12.6kg/1.4kg	指定色	○	○	○	○	—	第二石油類/第二石油類
	OXC-MCC/F中塗り	12.6kg/1.4kg	指定色	○	—	—	—	—	第二石油類/第二石油類
	OXC-MCC/F上塗り	12.6kg/1.4kg	指定色	○	○	○	○	—	第二石油類/第二石油類
上塗り (溶剤)	OXC-CC/S	13.6kg/0.9kg	指定色	○	—	—	○	—	第一石油類/第一石油類
	OXC-CC/F中塗り	14kg/1.4kg	指定色	○	—	—	—	—	第二石油類/第一石油類
	OXC-CC/F上塗り	10.8kg/2.7kg	指定色	○	—	○	○	—	第一石油類/第二石油類
シンナー類	OXC-エポキシシンナー	16L							第一石油類
	OXC-MCC専用シンナー	16L							第二石油類
	OXC-CC専用シンナー	16L							第一石油類

※1 この項の消防法上の危険物はすべて第4類、非水溶性液体に該当。

※2 指定色は日塗工など色見本帳番号でご指定可能です。濃色など一部は近似色での対応となります。

■ 注意事項

〈共通〉

- ・ご使用に際してはマニュアルをよくお読みください。
- ・ご使用上の注意および詳細は安全データシート（SDS）をご参照ください。
- ・色相の変化を見るために必ずサンプルにて試し塗りを行ってください。
- ・施行箇所周辺に樹木や草花がある場合には、製品が飛散しないようにしてください。
- ・施工当日に強風、降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工しないでください。
また、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨がつかないようにしてください。
気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。
- ・床面への施工は避けてください。
- ・作業中はゴム手袋および眼鏡を着用し、特に目に入らないように注意してください。
- ・万が一目に入った場合には直ちに多量の水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・材料は電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- ・他社製品と併用すると本製品の性能が十分発揮されないため他社製品との併用はおやめください。
- ・0℃以上30℃以下の冷暗所にて密閉状態で保管してください。
- ・容器のキャップは、商品の取り扱い時以外はしっかりと締めて保管してください。
- ・必要量だけ容器から取り出し、使用した残りは容器に戻さないでください。
- ・各工程の養生時間は、気温23℃ 相対湿度50%の場合です。
躯体温度や気温が低い場合、多湿の場合など、乾燥に時間がかかることがあります。
- ・塗布量が不足すると、密着や耐候性、その他塗膜物性に悪影響を与える可能性がありますので、カタログ記載の塗布量をお守りください。
ただし、躯体の表面状態によって多少上下する場合があります。

〈下地調整 新築〉

- ・下地がコンクリートの場合、十分に乾燥させ、含水率は8%以下、pH10以下としてください。
- ・下地によって下塗材や塗布量が変わります。4ページの下塗り選定表をご確認ください。
- ・躯体の泥汚れ、油汚れ、スケールはコートの浸透及び密着を阻害するため、必ず弊社洗剤で洗浄し、よく乾燥させてから使用してください。
- ・下地に骨材露出、巣穴、かけ、不陸等がある場合は必要に応じて補修・調整してください。

〈下地調整 改修〉

- ・塗装の前に必ず素地調整（塗装面の油分、水分、ほこり、浮いている旧塗膜、その他付着物の除去）をしてください。
- ・旧塗膜に脆弱層のある場合は、サンダー及び皮スキ、ケレン棒を用いて除去し、段差修正し、パターンの復元を行ってください。
- ・高圧水洗にて旧塗膜に付着しているチリ、ほこり、汚れなどを除去してください。

〈水性塗料〉

- ・笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので使用は避けてください。
- ・使用した器具は水や中性洗剤などで十分に洗浄してください。
- ・洗浄が不十分なままほかの塗料に使用すると、ゲル化などの不具合が発生する可能性があります。
- ・乾燥及び塗料成分が滞留しないよう、取り扱い場所は空気の通り道を確保してください。

〈溶剤系塗料〉

- ・弱溶剤系および溶剤系の塗料・各種シンナーは有機溶剤であり、消防法上の危険物に該当いたします。
- ・消防法に従った保管・取扱が必要です。保管及び取扱時は火気厳禁とし、また、有機溶剤中毒予防の対策が必要です。
- ・希釈溶剤は必ず指定のシンナーをご使用ください。また、希釈率は厳守してください。
- ・2液混合タイプの塗料は、必ず混合比を厳守してください。
- ・本カタログ記載の2液混合タイプの塗料は、すべて可使時間が5時間です。可使時間を過ぎた塗料は使用しないでください。
- ・使用したスプレーガン等の器具は、シンナーなどで十分に洗浄してください。

株式会社OSHIROX

本社・ショールーム

559-0011 大阪市住之江区北加賀屋4-1-55

工場

653-0032 兵庫県神戸市長田区荻藻通1-3-17

